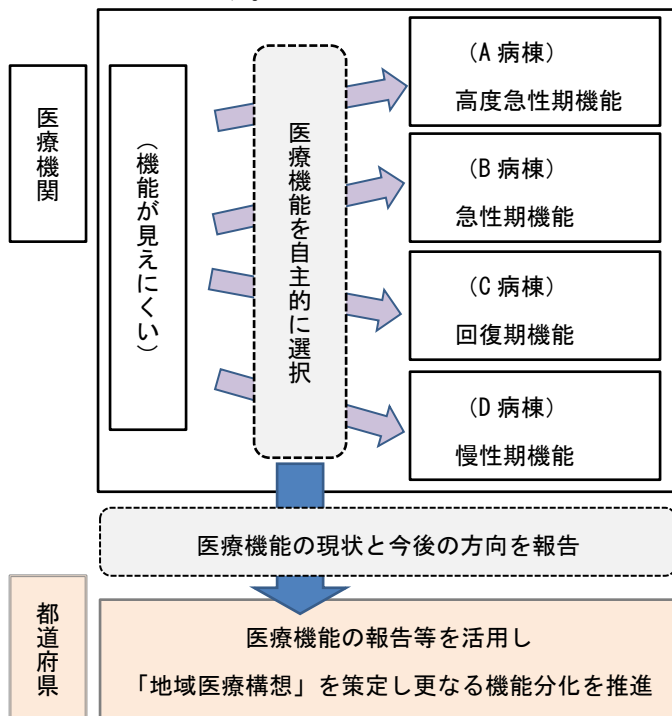




2025年に向けて・・・

「地域医療構想」検討開始

今日、医療・介護の分野では「2025年問題」がひとつのキーワードになっています。「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）になることにより、医療・介護費用等社会保障費の急増が懸念される問題です。この2025年における医療需要と病床の必要量、目指すべき医療提供体制を実現するための施策を内容とする「地域医療構想」の検討がすすめられています。滋賀県の場合、7つの医療圏域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北、湖西）に区分し、それぞれの圏域における「地域医療構想」を策定することとなり、各病院はそれぞれの医療圏において「どのような医療機能を提供するのか」を明確にしていくこととなります。「医療機能」は「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4機能に区分されており、昨年度から「病床機能報告制度」がスタートしました。とりあえずはそれぞれの病院が医療機能を自主的に選択し報告することとなりましたが、今後はそれぞれの医療機能の需要量と必要病床数による病院間調整が図られていく予定となっています。



■ 病床機能区分

■ 高度急性期

○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能。

■ 急性期

○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能。

■ 回復期

○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能

○特に急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADL 向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）

■ 慢性期

○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

○長期にわたり療養が必要な重度な障がい者（重度な意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能）

当院は今日までリハビリテーションを核とする総合的な医療をすすめてきましたが、その方向を踏襲しつつ、更に回復期医療機能の充実を図り、急性期機能、在宅機能との連携を深めていきます。

スプリンクラー設置工事が始まります

火災を早期に感知し、かつ、自動的に消火する設備であるスプリンクラーの工事がこの10月から来年の3月まで行われます。工事期間中は多々ご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いたします。

整形外科、月曜～土曜、毎日に！！

～火曜、水曜、午後の診察を開始しました～

整形外科の診察を1週間通して行います。今日までの月曜、木曜、金曜、土曜の午前診察に加え、10月からは、火曜、水曜の午後も診察を行います。詳しくは医事課受付又は電話でお尋ね下さい。